

# いろいろ発見 **高砂** さあ、出発だ！

## 高砂堀川

さいはっけんちず  
再発見地図 (発行)

### か いがい 高砂港からいざ出発！

その昔、港町高砂から多くの男たちが世界の海に雄飛していきました。遠く東洋にわたって貿易した天竺徳兵衛もその一人で、高砂町横町の善立寺にその墓が残っています。

徳兵衛は、慶長17年(1612)に船頭町に生まれ、15歳の時、京都の角倉與右衛門の船頭前橋徳兵衛の喜俊としてシヤム(タイ)に渡り、その後さらにオランダ人の船でも交易に従事しました。(位置番号13)

### きょうみある まちの名残る 高砂町！

高砂町のまちの名前は、船頭町、鍛冶屋町など、その地にかつて集住していた人々の職業に由来したもので、東浜町や西宮町のように、まちのある場所を示すもの、また、材木町のように土地の用途に由来するものなどそれぞれが興味深い由来を持っており、まちの名から当時の様子を推察することができます。

### らくを共に 愛を誓った 高砂申士！

「高砂やーこの浦舟に帆をあげて...」で知られる謡曲「高砂」のゆかりの地です。境内には「野と路」の由来である豊松「相生の松」があり、根は一つにして、幹が雌雄二つに分かれ、一つの幹は海辺に生える「黒松」、もう一方は山に生える「赤松」です。種類も、種生地も違うことから、縁のある人との「出会い」を大切に、夫婦愛と長寿の願望を表しています。(位置番号26)

### むたいな S.Lも走った 高砂線！

昭和59年に廃止になった高砂線は、大正3年に尾上-高砂の区間で播州鉄道として開通し、再建に変わる物資の運搬手段として、また市外から工場へ働きに来る人々の足として親しまれてきました。

S.L(蒸気機関車)やレカー(機関車)が走っていた高砂線の線路敷きは、敷設路として整備され、道路沿いに置かれた車輪や信号機のモニュメントが当時の様子を偲ばせてくれます。(位置番号3, 5)

### この地にも あるよ！銀座商店街

高砂銀座商店街は、多くの人々に親しまれ、由緒ある商店街です。昭和25年には商工会議所が設立され、高砂町長には町役場と高砂駅を結ぶ要所として人々を魅了する商店が軒を連ねました。早くからアーケードも設置され、昭和53年には商店街の人々が協力してカラー舗装なども行いました。(位置番号11)

- ### 《絵図番号の説明》
- 1 トンガリ屋根と6本の鉄脚をもつ旧配水塔
  - 2 ショッピングセンターサンモールのオブジェ
  - 3 旧国鉄高砂線のレールの切り替えモニュメント(「け」参照)
  - 4 レンガの煙突を持つお風呂屋さん「梅ヶ枝湯」
  - 5 旧国鉄高砂線の蒸気機関車の車輪のモニュメント(「け」参照)
  - 6 平安時代に創建されたお寺「十輪寺」
  - 7 昔ながらのきれいな町家が残る魚町
  - 8 曲線を描く屋根を持つモダンな洋館「松本家」
  - 9 モダンなデザインの「三ツ星化学」
  - 10 賑やかな角こう3軒間隣「12軒長屋」
  - 11 時代を感じさせる「銀座商店街入り口のゲート」
  - 12 銀行として活躍していたギンシャ風の通柱を持つ「高砂商工会議所」
  - 13 南蛮貿易！「天竺徳兵衛のお墓」(「か」参照)
  - 14 高砂の銘菓、野路菊饅頭のお店「柴田最正堂」
  - 15 貴重な木造洋館「魚町倶楽部」
  - 16 町家の強い見方「高砂市の消防分署」
  - 17 祭りまで出番をじっと待つ「福台倉」
  - 18 藍屋町の「卯建のあるまちなみ」
  - 19 高砂の名産、焼き穴子のお店「下村商店」
  - 20 よく手入れされた立派な倉が並ぶ「松本家」
  - 21 むかしながらの重厚な町家「工業園」
  - 22 昔の映画館、東照館の一部残る「レンガ壁」(「こ」参照)
  - 23 通りの中にお宮を持つ「西宮町の辻広場」
  - 24 焼き板を使った塀を設けた「東宮町の通り」
  - 25 東宮町の「恵比寿神社」
  - 26 相生の松でも知られる「高砂神社」(「く」参照)
  - 27 レンガ倉庫
  - 28 高砂港周辺の「漁村のまちなみ」
  - 29 港の先端に建つ美しい建物「大崎邸」
  - 30 昔の町家の様子がよく分かる「花井邸」
  - 31 昔あった畑にかかっていた「稲荷橋」
  - 32 東から高砂に入る時に通る「永楽橋」
  - 33 三重製紙高砂工場の「レンガの建物」



### 堀川周辺地区の29町看板

それぞれの看板に書かれている町名由来は堀川周辺のまちなみを考える会のメンバーが中心となって、自治会、市の協力を得て作成・編集を行いました。看板に描かれた元禄期の絵図と共に歴史の探険に出掛けてください！

農人町・東農人町・北本町・藍屋町・東浜町  
高瀬町・次郎助町・鍵町・横町・鍛冶屋町  
北渡海町・清水町・船頭町・細工町・大工町  
魚町・南渡海町・材木町・今津町・南本町  
釣船町・宮前町・狩網町・獵師町・田町  
茨町・西宮町・東宮町・南浜町

製作 堀川周辺のまちなみを考える会 (デザイン: まちの再生デザイン室 山本直美)  
発行 高砂市都市整備部計画課 0794-43-9033(直通) 製作年月日 平成16年3月18日  
(参考資料: 高砂町史稿)

平成15年3月に堀川周辺のまちなみを考える会のメンバーが中心となり、自治会にも協力をいただき、当地区の住民や当地区を訪れた人々にまちの名前の由来を知ってもらおうと、看板の設置を行いました。町を散策しながら看板を探してみてくださいね！

高砂町は、江戸時代始めに短絡藩により建設された計画都市であり、麻葉や農具などの物資の集散地として繁栄しました。近代に入ってから、臨海部に工場が立地する産業都市へと機能的な変遷は見られましたが、町制や道の構成など都市の骨格は築かれた当初の面影を継承しています。また、伝統的な建造物が点在し、歴史の積み重ねを感じさせる雰囲気がいまに伝えています。しかしながら、近年は建築物の建て替えや広告物の氾濫などにより、地域の特色ある景観が失われつつあります。